

『滿漢成語對待』校注(50)

竹越 孝

〔承前〕

10-141 menen..

馬鹿

傻子(四 56b1)

10-141-1 alin koco i eihun.

山 辺鄙 の 愚鈍

山噶喇子裏的山傻子(四 56b2)

10-141-2 fuhali niyalma waka.

全く 人 でない

再不是個人(四 56b2)

10-141-3 turgun akūde sabuha masi¹ hoho² injembi.

理由 ないのに 見た 徒に カカと 笑う

無故的見了人只是呵呵的笑(四 56b2-3)

10-141-4 terei ujui hukšehe. bethe fehuhe babe.

彼の 頭で 頂き 脚 踏んだ 所を

你把他頭頂的脚趾的去處(四 56b3-4)

10-141-5 bai cendeme si³ tede fonjime tuwa.

ただ 試しに 君 彼に 尋ねて 見よ

白試試你問他看(四 56b4-5)

10-141-6 jabšande uju gehešeci.

幸いに 頭 頷くなら

高興點頭兒(四 56b5)

10-141-7 inu tumen de akū baita.

また 万 はない 事

也是再也沒的事(四 56b5-6)

10-141-8 tuttu bime.

そう であっても

雖是那們的(四 56b6)

10-141-9 tede inu emu gaici acara babi.

彼に も 一つ 取る べき 所ある

他也有可取的地方(四 56b6-7)

10-141-10 alin i dolo⁴ deijire moo ganabure de.

山の中に 焼く 木 取りに行かせたら
山裏取焼柴去 (四 56b7-57a1)

10-141-11 fuhali aciha.

全く 積荷
總説是個塚⁵子 (四 57a1)

10-141-12 baran alin i adali.

姿 山 の 様に
堆塚兒像個山 (四 57a1-2)

10-141-13 meiherefi gajimbi..

担いで 持ってくる
抗了來 (四 57a2)

10-142 eleburakūngge..

満足させないこと
不穀人的 (四 57a3)

10-142-1 yaya onggolo pampu etu nakū.

全て 予め 綿衣 着る や否や
來不來的穿上個臚袄 (四 57a4)

10-142-2 elerakū dabkime kokoli jibsimbi.

満足せず 加えて マント 重ねる
還不穀加上個緊身兒 (四 57a4-5)

10-142-3 laku be kušun icakū seme.

股引 を 不快 不服 と
嫌厚棉褲皺不舒服 (四 57a5)

10-142-4 aduhi baitalambi.

皮袴 用いる
用皮褲 (四 57a6)

10-142-5 du de hebtehe hūsifi.

骨盤 に 腰巻 巻いて
腰裏圍著個寬帶子 (四 57a6)

10-142-6 turei celin be telkin de tatahabi.

靴の胴の 細紐 を 袴帯 に 引いている
靴鞞子的扯拉兒扯的褲帶兒上 (四 57a7)

10-142-7 gūlha de mangga niyecen akū.

靴 に 硬い 継ぎ布 なく
靴子不著主跟子 (四 57b1)

- 10-142-8 fehuhei guye tehebi.
踏んだまま 踵 座っている
蹠的都坐跟了 (四 57b1-2)
- 10-142-9 hacin geren.
種類 多い
要様 (四 57b2)
- 10-142-10 meiherere damjalara alban akū bime.
担ぎ 背負う 公務 ない のに
又没個抗挑的差使 (四 57b2-3)
- 10-142-11 hibta emke weilefi lolo sembi..
肩当て 一つ 作り ぺらぺら 喋る
做下个肩搭兒嘍大話 (四 57b3)
- 10-143 fiyakiyarangge..
灼熱
熱天 (四 57b4)
- 10-143-1 halhūn i erin galman ija dekdehebi.
熱 い 時 蚊 虻 湧いている
該熱的時候起了蚊蠅了 (四 57b5)
- 10-143-2 ulha saire de hamirakū.
家畜 咬むの に 耐えられない
牲口咬的受不了的 (四 57b5-6)
- 10-143-3 uju sesheteme.
頭 振って
布擗腦袋 (四 57b6)
- 10-143-4 ucehen lasihidambi.
尾 振り回す
搖尾耙 (四 57b6-7)
- 10-143-5 yabure niyalma jucuma buheliyefi.
行く 人 虫除け 被り
行人蒙著罩子 (四 57b7)
- 10-143-6 arfukū be gala ci hokoburakū.
払子 を 手 から 離さない
手裏不離整尾耙的蠅刷兒 (四 58a1)
- 10-143-7 šuwak sik sehei banjimbi.
びし びし いうまま 過ごす
嘗嘗不住的擗打 (四 58a1-2)

10-143-8 bilha fafi gahūšame.

喉 渴いて 飲み下せず

嚙子乾渴的要命 (四 58a2)

10-143-9 katur katur juhe bahaci ergen..

がり がり 氷 得れば 元氣

割啞噶啞的把冰當命 (四 58a2-3)

10-144 amtan wa..

味 匂い

味道 (四 58a4)

10-144-1 erin halhūn de.

時 熱いので

天道熟 (四 58a5)

10-144-2 yaya jaka be asaraci mangga.

全ての 物 を 蓄えること 難しい

一旦東西難收 (四 58a5)

10-144-3 buda nikdekebi⁶.

飯 悪くなっている

飯呢餒 (四 58a6)

10-144-4 ufa ebekebi.

麵 ふやけている

麵呢糟 (四 58a6)

10-144-5 yali werukabi.

肉 溶けている

肉呢臭 (四 58a6)

10-144-6 nimenggi hakšakabi.

油 浸み出ている

油膩哈喇 (四 58b1)

10-144-7 jusukun⁷ ningge gūwancihyan ofi gūwašakabi.

酸っぱい もの 不味く なり 味が変わっている

酸的呢變 (四 58b1-2)

10-144-8 edeke manggi gemu baibi waliyambi.

変わった 後 みな 無駄に 捨てる

改變了都白擻 (四 58b2)

10-144-9 jeki seci.

食べたい と思うなら

要吃呢 (四 58b3)

- 10-144-10 juken isingga.
 何とか 間に合う
 剛毅 (四 58b3)
- 10-144-11 kemneme gaisu.
 量って 受け取れ
 可著買 (四 58b3)
- 10-144-12 funcebuci derhuwe jabcafi sen waliyambi..
 余らせれば 蠅 たかり 穴 卵を産む
 剩下了蒼蠅綜著下胙 (四 58b3-4)
- 10-145 sejen..
 車
 車 (四 58b5)
- 10-145-1 tebuhe be suwe tuwa.
 積んだのを 君達 見よ
 你們哨裝的 (四 58b6)
- 10-145-2 yasa gemu bijahabi.
 眼 みな 折れている
 眼都瞎了 (四 58b6)
- 10-145-3 gengguke kai.
 前重心 だぞ
 轆重了 (四 58b6)
- 10-145-4 si saburakūo.
 君 見えないか
 你看不見麼 (四 58b7)
- 10-145-5 majige henuburakū⁸ šakšan.
 少しも 言わせず 狡い
 一點不教人說牛奔兒 (四 58b7)
- 10-145-6 henuci⁹ madafi.
 言えば 怒って
 說了他發作了 (四 58b7-59a1)
- 10-145-7 sinde sejen be kangtaraka.
 君に 車 を 後重心にさせた
 他會給你個轆輕 (四 59a1)
- 10-145-8 ambarame nimararade.
 大いに 雪が降るので
 大雪裏 (四 59a1)

10-145-9 ume tucire seci.

決して出るな と言っても

教他別出去 (四 59a2)

10-145-10 mur seme ojarahū.

強情 に 従わない

降著不肯依 (四 59a2)

10-145-11 sejen i muheren fuhešere fuhešerakū be herserakū.

車 の 車輪 転がる 転がらない を 気にせず

也不理論車輪轉與¹⁰不轉 (四 59a2-3)

10-145-12 faradahai bašame gamaha..

回らないまま 押して 持って行った

拖床子似的直赶了去了 (四 59a3-4)

10-146 arki..

蒸留酒

酒 (四 59a5)

10-146-1 siša labdu oci wa gaibumbi.

残り酒 多い ならば 味 取られる

稍子大了奪酒的味道 (四 59a6)

10-146-2 amba beikuwen inenggi.

大いに 寒い 日

大冷天

10-146-3 fahala nure¹¹.

濃厚な 醸造酒

戀黄酒 (四 59a6-7)

10-146-4 kaki arki de.

きつい 蒸留酒 に

乾酔焼酒 (四 59a7)

10-146-5 nimaha be tuwa de talkafi.

魚 を 火 で 半焼きにし

就著帶血津兒的燒魚吃 (四 59a7-59b1)

10-146-6 boohalame omicame jeki¹². damu soktocina.

料理を食べ 飲んで 食べたい ただ 酔えばよい

大家只請醉 (四 59b1)

10-146-7 tuttu seme.

そうでは あるが

説雖如此 (四 59b2)

10-146-8 labdulaci ojarahū.

多くなつては いけない

多了使不的 (四 59b2)

10-146-9 dufe oci inu giyan waka.

淫ら になつても 礼 と違ふ

絮了也不是禮 (四 59b2-3)

10-146-10 sebken ci sebjen ningge akū..

最初 より 楽しい もの ない

没有比乍吃的樂 (四 59b3)

10-147 bujurengge..

煮ること

煮東西 (四 59b4)

10-147-1 yali be bafi buju.

肉 に 包丁を入れ 煮ろ

把肉扎了煮 (四 59b5)

10-147-2 buranggiyara adali oilohodome gairahū.

生煮え の様に 軽くして 取らないか

楞裏楞掙的別打個滾就撈起來 (四 59b5-6)

10-147-3 kuweleme fuyehe sukū be farsila.

油を付けて 剥ぎ 皮 を 塊にせよ

把帶著油的猪皮子切成塊 (四 59b6)

10-147-4 oilorgi nimenggi be algiyame gaisu.

表面の 油 を 搦い 取れ

撇了浮上的油 (四 59b6-7)

10-147-5 siseku hergehe manggi.

篩 漉した 後

簸羅子過了 (四 59b7)

10-147-6 sile acabumbi.

肉汁 合わせる

對湯 (四 60a1)

10-147-7 buda aba.

飯 どこ

飯在那裏呢 (四 60a1)

10-147-8 bele hono surara unde bade.

米 まだ 研いで いない 所で

米還未淘 (四 60a1-2)

10-147-9 turaka suran be gamafi ko de tura.

切った 研ぎ汁 を 持ち 溝 に 捨てよ

澄了甘水拿到陽溝眼兒裏倒（四 60a2）

10-147-10 fahala ningge be isabufi ulgiyan labsime dundakini..

濃厚な もの を 集めて 豚 がつつと 与えるがよい

蠟脚子戀的積起來給猪搭拉敦嗒（四 60a2-3）

¹ masi : 不明、mekere と関係するか。

² hoho : 不明、koko と関係するか。

³ si : 聴松樓本・先月樓本は i に作る。

⁴ i dolo : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は de に作る。

⁵ 塚 : 聴松樓本は駄に作る。

⁶ nikdekebi : 不明、nikedekebi の意か。

⁷ jusukun : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は jusihūn に作る・不明、jušun に関係するか。

⁸ henuburakū : 不明、henduburakū の意か。

⁹ henuci : 不明、henduci の意か。

¹⁰ 與 : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本はこの一字を欠く。

¹¹ nure : 聴松樓本・先月樓本は一部墨丁に作る。

¹² jeki : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は ohode に作る。

- Z-1 šošohon.. (四 61a1)
概要
- Z-2 fe sakdasa wajiha. (四 61a2)
昔の 老人達 亡くなった
- Z-3 sakdasa be sirebuha¹ niyalma inu sakdaka. (四 61a2)
老人達 を 継いだ 人 も 老いた
- Z-4 esei beye ne bifi. (四 61a3)
彼ら 自身 今 いて
- Z-5 fe doro geyan i² ba be dahame halara bade. (四 61a3-4)
古い 道理 規則 の 所 に 従って 改める のに
- Z-6 siranduhai wajime geneci. (四 61a4)
引き続き 亡くなって 行けば
- Z-7 elei gūwaliyandara be ai hendure. (四 61a4-5)
益々 変わるの を どう 言う
- Z-8 ulhiyen ulhiyen i manju gisun wasime eberere de. (四 61a5)
だん だん と 満洲 語 零落し 衰えるので
- Z-9 ilibume bibuki sembikai. (四 61a6)
立てて 留めたい と思うぞ
- Z-10 sakdasa be amcabuhakū. (四 61a6)
老人達 を 追いかけてさせず
- Z-11 amala banjiha urse de ai arga. (四 61a6-7)
後に 生きた 人達 に どんな 方法
- Z-12 uttu ofi. te sakdasa dubeheri oho be amcame. (四 61a7-61b1)
こう なので 今 老人達 最後 に なったの を 追いかけて
- Z-13 funcehe manju³ fe gisun i ujan šala be šufame gaifi. (四 61b1-2)
残った 満洲の 古い 話 の 裁ち 屑 を 集めて 取り
- Z-14 ici muru be tuwame yohi obufi meyen banjibuhabi. (四 61b2-3)
方向 手本 を 見て 揃い にして 段落 編んだのだ
- Z-15 udu afaha fiyelen banjinarakū bicibe damu bahaci. (四 61b3-4)
幾つか 篇 章 生まれない けれども ただ 得れば
- Z-16 seibeni banjiha angga hošoi ergi hūhuri⁴ be buruburakū. (四 61b4-5)
以前 生んだ 口 角の 辺で 取り柄 を 消さず
- Z-17 dasame iletulebuki sembi. (四 61b5)
再び 明らかにしたい と思う
- Z-18 aika tašaraha. (四 61b5-6)
もしも 間違ったり

- Z-19 akūmbuhakū ba bifi. (四 61b6)
 尽きていない 所 あって
- Z-20 se lakcaha ahūta tuwame tucibufi. (四 61b6-7)
 歳 離れた 兄達 見い 出し
- Z-21 ilgama faksalame dasatara⁵ be tatame neileci. (四 61b7-62a1)
 区別し 分けて 整理したの を 引いて 啓発すれば
- Z-22 nergin de jabšabure teile wajirakū. (四 62a1)
 時機 に 合うこと ただ 尽きない
- Z-23 mohon akū bibume tutabure tusangga babe. (四 62a1-2)
 限り なく 留め 残す 有益な 所を
- Z-24 gubci de bahabuci ombi. (四 62a2-3)
 皆 に 得させること できる
- Z-25 gisun serengge muse acan sasa uhelehengge. (四 62a3)
 言葉 というもの 我々 一つに 共に 合わせたもの
- Z-26 geren i adali akū angga sencehe de isinafi. (四 62a4)
 皆 の 様 でない 言 辞 に 至り
- Z-27 wakai halai ferguwecuke ba fisembume. (四 62a4-5)
 違う 様子の 非凡な 所 述べて
- Z-28 badarambume tucinjifi selgiyebuhede. (四 62a5-6)
 拡げて 出てきて 伝えたら
- Z-29 fe durun inu⁶ buruburakū gehun tucinjimbi. (四 62a6)
 古い 姿 も 消えず はっきり 出てくる
- Z-30 ice tamin acanabume faliha šu yangse de inu eldengge. (四 62a7)
 新しい 毛並み 揃えて 結んだ 文章 でも 輝き
- Z-31 saikan nonggimbi. (四 62b1)
 美しさ 加える
- Z-32 gisun be dolo somifi. (四 62b1)
 言葉 を 中に 隠し
- Z-33 gūnin be asarara. (四 62b1)
 考え を 蓄える
- Z-34 baibi hefeli dolo niyabure jalinde aiseme hairambi. (四 62b2)
 徒に 腹の 中 腐らせる ので 何と言って 惜しむ
- Z-35 siden i gisun be. (四 62b3)
 公 の 言葉 を
- Z-36 siden i bade tucibufi. (四 62b3)
 公 の 場に 出し

- Z-37 enteheme ulanduha de. (四 62b3-4)
永遠に 伝えた ら
- Z-38 siden i jalin banjinjiha be hukšere dabala. (四 62b4)
公 の ため 生まれてきたの を 頂く だけだ
- Z-39 erin inenggi goidaburakū beye be hacihiyarangge. (四 62b5)
今 日 長引かせず 自身 を 促すこと
- Z-40 geri fari mukiyere hūdun. (四 62b5-6)
茫 然と 消えるの 速い
- Z-41 gukure hahi. (四 62b6)
滅びるの 急速
- Z-42 talkiyan i elden. (四 62b6)
稲妻 の 光
- Z-43 hirhai tuwai adali. (四 62b7)
火打石の 火の 様
- Z-44 nasame⁷ jabcabure⁸ baita be ainu wajirakū obumbi⁹.. (四 62b7-63a1)
嘆き 責められる 事 を なぜ 終わらなく する

[了]

¹ sirebuha : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は amcabuha に作る。

² geyan i : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は hono に作る。geyan は giyan の誤か。

³ manju : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は tutaha に作る。

⁴ hūturu : 聽松樓本・先月樓本は harturi に作る。

⁵ dasatara : 二酉堂本・雲林堂本・書肆不明本は sihe orho に作る。

⁶ inu : 聽松樓本・先月樓本は ici に作る。

⁷ nasame : 二酉堂本・雲林堂本は nesame に作る。

⁸ jabcabure : 聽松樓本・先月樓本は jaujamere に作る。

⁹ wajirakū obumbi : 先月樓本はこの二語を欠く。

＜あとがき＞

本誌 171 号から 220 号までの全 50 回、2017 年 2 月から約 4 年あまりに及んだ『満漢成語對待』のローマ字転写と校注は、以上をもって終わる。第 9 号から本誌に関わっている筆者にとって、これまでで最も長い連載となった。

この間、北京大学出版社による『早期北京話珍本典籍校釈と研究』叢書の一部をなす「早期北京話珍稀文献集成・清代満漢合璧文献萃編」が編まれ、本書の中国語による校注が、北京大学図書館蔵刊本（本稿で言う書肆不明本と同版）の影印とともに、竹越孝・陳曉校注『満漢成語對待』（全 3 冊、2018 年）として刊行された。また、筆者自身も本書に対する概説的な文章として、「《満漢成語對待》—現存最早の清代満漢合璧會話教材—」（『漢語史學報』第 18 輯、2017 年）を發表している。

本稿において扱った聽松樓本、先月樓本、二酉堂本、雲林堂本及び書肆不明本という 5 版本の継承関係については、全書にわたる校合作業を経て一定の見通しを得ることができた。即ち、①聽松樓本と先月樓本、②二酉堂本と雲林堂本がそれぞれ一系統をなし、書肆不明本は両者をともに参照した上で妥当な記述を採用しているというものである。どちらの系統がより原本に近いかといえ、②の系統が第四巻のみ行数を増やして葉数を節約しようとするなどからみて、①の系統の方が先に成立したと見ておきたい。

すべてを通読した今となっても、全くこの書物を読めたという感触がなく、ひたすら難しかったという印象しかない。「不明」で始まる注が多数あることから分かるように、現行の満洲語辞典類に見えない単語や孤例が多く、中国語も満洲語解釈の助けにならない、あるいはそれ自体うまく解釈できないものが散見する。これまで読んできた『清文啓蒙』（1730）や『清文指要』（1789）といったスタンダードな満漢合璧會話書とは、満洲語・中国語ともに大きな開きがあることを実感させるもので、康熙（1661-1722）以前と雍正（1722-1735）以後、あるいは 17 世紀以前と 18 世紀以降には、文献に使用される言語において断絶があると考えられるべきであろうと思う。そんな中、この連載開始直後から運用の始まった東北大学東北アジア研究センターの「言語資料検索システム」の満洲語辞書には大変お世話になり、深く感謝している。

連載を続けているうちに、記述方針にずれが生じた可能性があるもので、まずは早い機会に全体を見直して相応の修正を加え、満洲語と中国語の語彙索引、現存版本とその系統関係に関する解説を付した上で、あらためて読者の利用に供することができればと考えている。